令和8年度　大阪府福祉基金地域福祉振興助成金（施策推進公募型）テーマ　Ⅴつながる「居場所」づくり事業一覧

受付ID	団体名	主な活動地域	事業名	実施期間始まり	実施期間終わり	事業実施場所	対象者等	事業概要	助成決定額
75	一般社団法人乳幼児発達推進協会	大阪府（吹田市）	地域体験型★子どもの「今」を育むプロジェクト	R8.4.1	R9.3.31	地域貢献団体（親子サロンLa-Park２号店）	０～3歳の乳幼児とその保護者 （特に子育てに不安を感じる・孤立しがちな家庭）	0～3歳の乳幼児子が安心して集える「つながる居場所」を定期開催し、孤立（孤育て）の解消と子どもの健やかな発達を支援することを目的とする。専門家監修の発達支援プログラム（リズム遊びや知育等）を提供するとともに、保護者同士の交流や専門家への相談機会を一体化して設ける。また、地域の子育て経験者等を「支援人材」として採用・育成し、地域で継続的に運営できる体制を構築する。企業協賛を活用して参加費を抑え、経済的状況に関わらず参加できる仕組みを整えるとともに、SNS等を活用して潜在的なニーズを掘り起こし、必要な支援機関へつなぐゲートキーパー機能も果たす。	2,809,000円
77	社会福祉法人阪南市社会福祉協議会	阪南市	FXFプロジェクト ～分野を超えた協働を創出する現地交流型プラットフォーム～	R8.4.1	R9.3.31	①阪南市地域交流館 ②ふれ愛福祉農園 ③西鳥取漁港 ④地域の田畑	生活困窮者、ひきこもり等の子ども・若者、高齢者、障がい者など参加支援を要する方、地域活動者や事業に関心のある方。行政、社会福祉協議会、医療・福祉機関、民間企業、学校、ボランティアや専門職など	阪南市で個別に展開されてきた「農（農園）・漁（漁港）・食（子ども食堂）」の活動を掛け合わせ、分野を超えた協働プロジェクトを創出することを目的とする。「FFコーディネーター」を配置し、各現場を相互に訪問する交流会「ふらっとほーむ」を開催することで、担い手不足等の共通課題を自分事化し、新たな連携（漁の副産物を畑へ等）を生み出す。また、プロのデザイナー等と連携して「魅せ方」を学ぶワークショップを行い、活動の魅力を発信して新たな参加者や応援者を増やす。これらを通じ、誰もが役割を持てる「阪南市型地域共生社会（ローカルフィット）」の構築をめざす。	5,000,000円
78	NPO法人こども夢教室	大阪府高石市内全域	つながる　い～ばしょプロジェクト ～ひとりじゃないを、地域でつくる～	R8.4.1	R9.3.31	タカイシボクシングスクール	不登校児童生徒を中心に、社会での生きづらさやつながりが希薄な若年層や孤立しがちな高齢者など地域住民	不登校や引きこもり等の課題を抱える子ども・若者を中心に、地域全体で支え合う仕組み「高石みんなのい～ばしょネットワーク」を構築することを目的とする。運動（ボクシング等）を通じた既存の居場所運営に加え、商業施設と連携したワークショップや「親カフェ」、フードパントリーを通じた戸別訪問（アウトリーチ）など、多様な「つながる入口」を整備する。対面参加が難しい層にはオンライン交流や動画配信も活用する。支援者・商店・団体が緩やかにつながり、困った時に「助けて」と言い合える地域文化を醸成し、孤立を防ぐセーフティネットを強化する。	4,756,000円
79	社会福祉法人四條畷市社会福祉協議会	四條畷市域	「なわて繋がりプロジェクト」	R8.4.1	R9.3.31	社会福祉法人四條畷市社会福祉協議会	つながりを必要とする地域住民（主に市内小中学生及び本事業の趣旨に賛同いただけるボランティアの方々）（参加者として、主に「なわぷら」がある近隣小中学生とその保護者。担い手としては、自治会や地区福祉委員会、民生委員児童委員協議会、老人クラブ、PTA、教育機関等を想定。）	小中学生のサードプレイス不足や地域のつながり希薄化を背景に、子どもを核とした多世代交流拠点「なわぷら（なわてプラットフォーム）」を展開することを目的とする。大阪信用金庫の店舗スペース等を活用し、子ども、高齢者、障がい者等がフラットに交流できる場を提供する。また、「繋がりサポーター養成講座」を開催し、地域の中でつなぎ役となる人材（リンクワーカー）を育成する。2か所目の拠点開設や「なわて円卓会議」での課題共有を通じ、住民主体の支え合い体制を市内全域に広げ、地域のハブ機能としての定着を目指す。	1,012,000円
80	一般社団法人セーフティネットリンケージ	大阪府吹田市内全域	みまもりあいプロジェクトin吹田 ～「1人でいても、ひとりぼっちにしない」市民主体型【DX居場所】づくり ～	R8.4.1	R9.3.31	社会福祉法人吹田市社会福祉協議会	【対象者１】 吹田市内「認知症等による望まない孤独孤立（空白期間）」の環境にある在宅「①認知症当事者とご族、②MCI当事者、③身体的虚弱に陥った高齢者） 【対象者２】 地域の支援団体、〇その他地域団体「自分たちでやってみたい！」思いで参加頂ける新しい団体	認知症診断前後の「空白期間」における孤立を防ぐため、デジタルツール（地域共生支援アプリ）を活用した市民主体型の「DX居場所」を構築することを目的とする。行政・大学・商店街など28団体が参画する「DX推進実行委員会」を核に、アプリを通じたSOS発信や地域資源の可視化、当事者の声を届ける音声番組の配信を行う。多世代が参加する見守り訓練やスタンプラリーを実施し、「支えられる側」から「支える側」への役割転換を促進する。個人情報を保持しない安全なデジタルインフラにより、誰もが役割を持って共生できる「吹田モデル」を確立し、府内への普及を目指す。	4,999,000円
81	特定非営利活動法人志塾フリースクールラシーナ	堺市南区	子どもの学び支援を通じ大人も輝く！多様な地域住民がゆるく交わる『駄菓子屋カフェ』事業	R8.4.1	R9.3.31	泉北BASE	不登校等の子どもと保護者を中心に、若者から高齢者まで孤立や役割を求める地域住民	泉北ニュータウンの「泉北BASE」を拠点に、支援する側・される側という固定的な関係を超え、多世代が役割を持ち支え合う居場所を構築することを目的とする。2年目となる本年度は、「実行会議」に行政や学校関係者を巻き込み、関係性が途切れない地域連携の実践を深める。具体的には、コミュニティカフェや子ども食堂、駄菓子屋を運営し、子ども・若者・高齢者が「好き」や「得意」を活かした小さな活動（スマホ教室や麻雀等）を立ち上げる。コーディネーターが関係性を調整し、深刻化する前の段階から日常的な関わりを蓄積することで、孤立を防ぐ地域構造をつくる。	5,000,000円
82	一般社団法人グッドラック	大阪市住之江区、寝屋川市	『こどもプープリカ』食×農×商×芸術の分野横断で生きる力を育む居場所づくり	R8.4.1	R9.3.31	PUBLICA（プープリカ）	ひとり親、不登校、虐待、孤立等の困難を抱える子どもや若者、高齢者、子育て世帯など	大阪市住之江区北加賀屋の「みんなのうえん」を拠点に、食・農・商・芸術を融合させた持続可能な居場所「こどもプープリカ」を運営することを目的とする。地域内通貨「プープ」を導入し、子どもが「ジョブ・クエスト（仕事体験）」を通じて通貨を得て、買い物や寄付に使う仕組みにより、自己有用感と社会性を育む。商店街やクリエイターと連携し、本物の職業体験やワークショップを提供する。	3,757,000円
83	特定非営利活動法人ここから１００	大阪府太阪市・吹田市・豊中市・箕面市・能勢郡	地域住民の多世代・多国籍交流を通して孤独・孤立を防ぎ地域生活支援事業	R8.4.1	R9.3.31	ここから１００・ここコミュ	安心できる居場所を必要とする子どもや子育て世帯、孤立リスクのある独居高齢者、継続的な支援を要する障がい者とその家族、言葉や文化の壁がある外国籍住民、生活や住居に不安を抱える困窮世帯	孤独・孤立が深刻な地域において、子どもから高齢者、外国籍住民、障がい者まで誰もが安心して集える居場所を構築することを目的とする。具体的には、2019年から続く「こども食堂」を核に、多世代・多国籍交流を促進し、孤立の予防と早期発見につなげる。また、「防災カフェ」を通じて災害時の共助体制を育むとともに、「つながりサポーター養成講座」や「総活マニュアル」作成を通じて、おひとり様の死後対応や居住支援等の課題に対応する。行政・社協・専門職と連携したネットワークにより、制度の狭間にある生活課題に切れ目なく対応し、安心して暮らし続けられる地域づくりを目指す。	5,000,000円
								交付決定団体【計8件】	32,333,000円